

航空宇宙カンパニー 事業紹介

2016年8月8日

航空宇宙カンパニー社長

長田 信隆



Nabtesco 航空宇宙カンパニー 事業紹介

1. 事業内容：製品領域

3つの製品領域で、 各種コントロールシステム・装備品を提供

製品領域



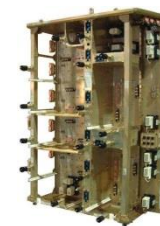
飛行操縦
システム

- アクチュエーター
- コントローラー
- 電油サーボ弁(EHSV)



電源
システム

- 分配電システム(R&P)
- 発電機定速駆動装置(CSD)



エンジン
関連機器

- 燃料ノズル
- 燃料ポンプ



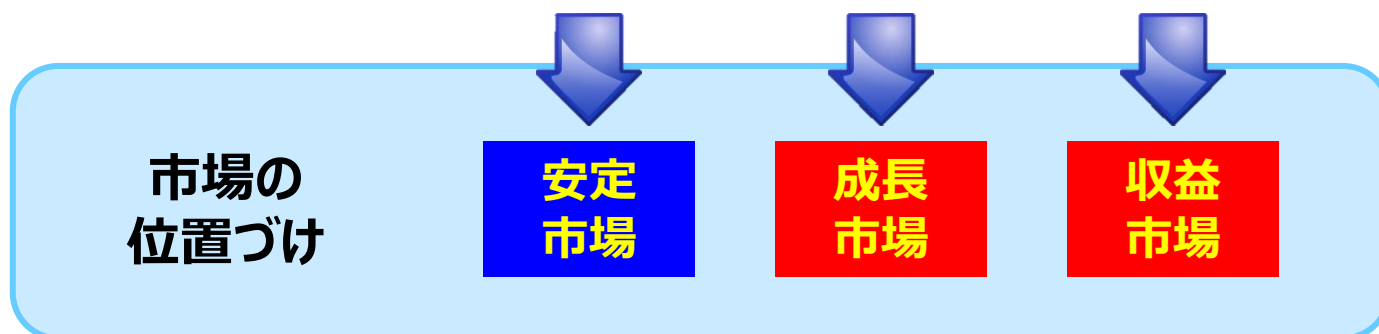
[出展:The Boeing Companyウェブサイト]

※ EHSV: Electro Hydraulic Servo Valve
 R&P: Rack and Panel
 CSD: Constant Speed Drive

Nabtesco 航空宇宙カンパニー 事業紹介

1. 事業内容：製品領域と対象市場

製品領域	国内防衛市場	民間機市場	民間機修理市場
飛行操縦システム	✓	✓	✓
電源システム	✓ CSD	✓ 787 R&P	—
エンジン関連機器	✓	✓ V2500	—



民間機市場で、利益有る成長を継続する！

Nabtesco 航空宇宙カンパニー 事業紹介

2. 事業内容：拠点



デュッセルドルフ営業所
2012年設立



シンガポール営業所
2013年設立



日本
1971年設立



米国
1976年設立

岐阜工場

【業務内容】

- ◆ マーケティング
- ◆ 技術開発 / 設計
- ◆ OEM 生産
(コア部品製造, 組立/試験)
- ◆ MRO※ (日本、東アジア)

設立：1971年 所在：岐阜県 垂井町
従業員数：493人(2015年12月末日時点)



ナブテスコ・エアロスペース

【業務内容】

- ◆ マーケティング
- ◆ 技術支援 & 技術開発
- ◆ OEM 組立/試験
- ◆ MRO※ (北米, 欧州, 中東)

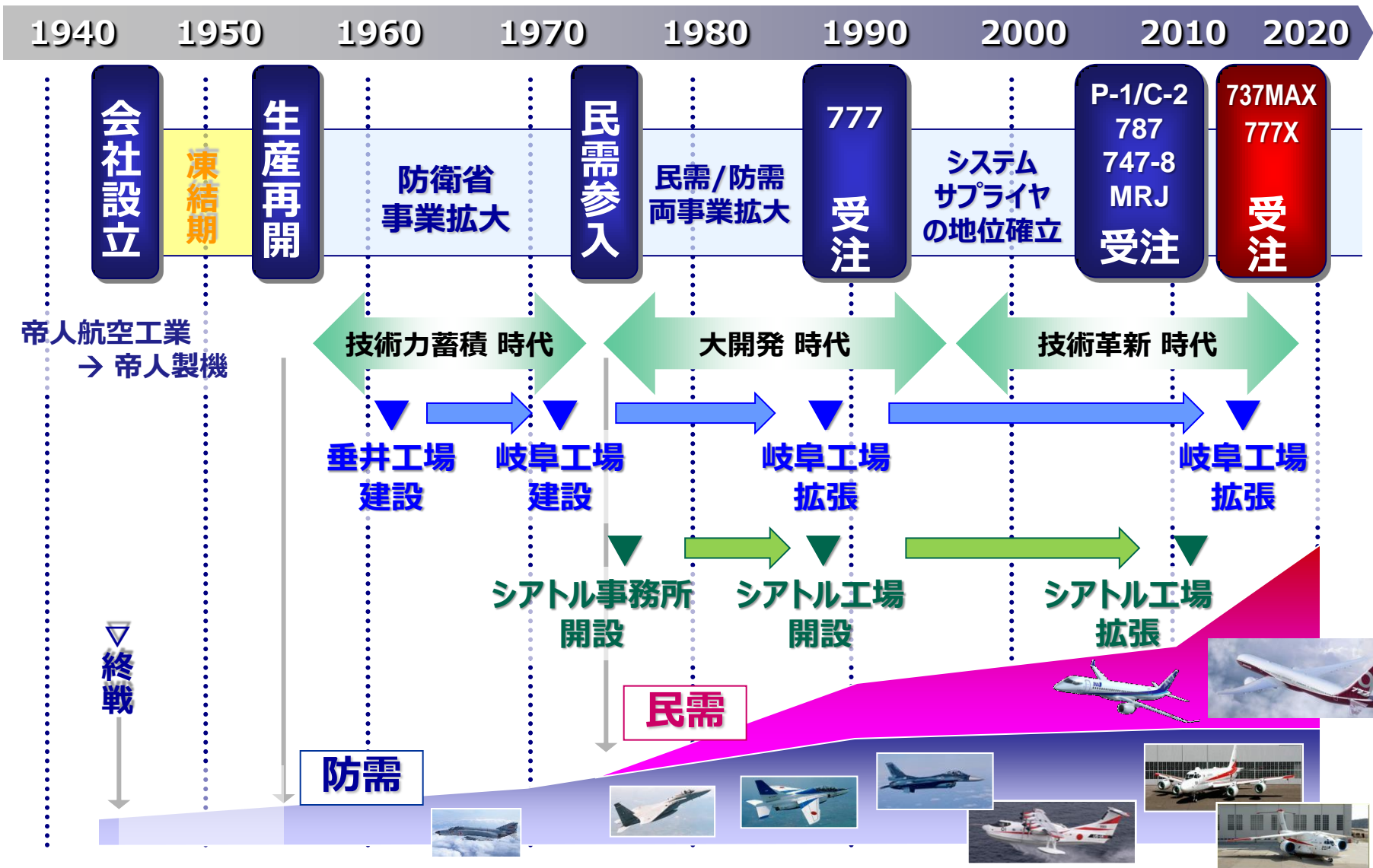
設立：1976年 所在：ワシントン州・カーランド
従業員数：56人(2015年12月末日時点)



※ MRO: Maintenance, Repair and Overhaul

Nabtesco 航空宇宙カンパニー 事業紹介

3. 沿革



帝人航空工業
→ 帝人製機

▽ 終戦

防需

民需

4. 事業環境

■ 国内防衛事業

- ✚ 景気に左右されない市場（微増傾向）
- ✚ 新技術開発及び民需への技術シナジー
- ✚ 規制緩和 → グローバル化



中長期的に安定市場

■ 民間機事業

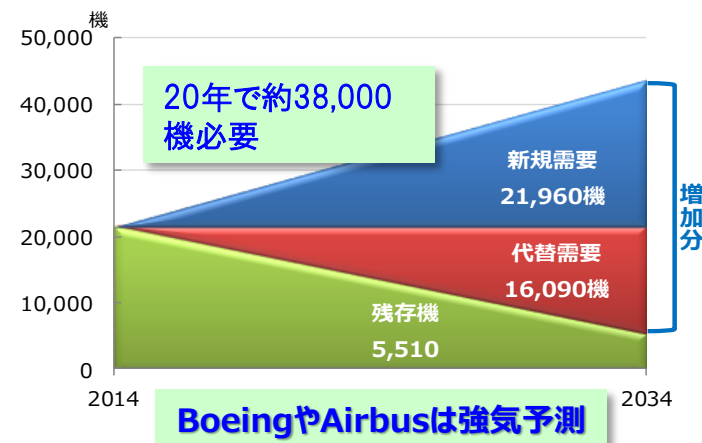
- ✚ 市場拡大 * 今後20年で運用機数2倍
- ✚ Boeing vs Airbus 競争激化
→ 低価格要求
- ✚ 原油安・景況感悪化
→ 先進国 機体買替え需要停滞
→ 新興国 LCC拡大投資継続



成長が期待できる市場



〔出展：海上自衛隊ウェブサイト〕



〔出展：The Boeing Companyウェブサイト〕

5. 最近のトピックス

<民間機事業>

2014年：ボーイング 2013 Supplier of the Year 受賞

2015年：ボーイング 777X フライト・コントロール・
アクチュエーション・システムの受注

2015年：MRJ向け製品の量産品出荷開始

2016年：ボーイング 737MAX向け製品の量産品出荷開始

2016年：ボーイング 2015 Supplier of the Year 受賞

<国内防衛事業>

2015年：先進技術実証機(X-2)向け
フライト・コントロール・アクチュエーション・システム開発完了

2015年：新型輸送機 C-2向け量産開始
(新型哨戒機 P-1 は既に量産中)

Nabtesco 航空宇宙カンパニー 事業紹介

民間機事業分野における成果 - (ボーイング/MRJプログラム)

2015年 : 777X フライト・コントロール・
アクチュエーション・システム受注

2015-16年 : 各種開発品の製品納入開始
(MRJ/737MAX向け製品)



2014 & 2016年 : ボーイング 2013/2015
Supplier of the Year 受賞

カテゴリー: Alliance ('13) & Collaboration ('15)部門

- ☆ 14,000社から選出
- ☆ 1995年以降、3度目の受賞

評価項目: 日頃のQCDS Performance+

- ☆ 経営アライアンス
- ☆ 開発プログラムにおけるスピード・柔軟性
- ☆ 将来ビジネスを見据えた改革姿勢



6. 中長期戦略 : 骨子



**独創的な顧客価値を提供し
5-Winを実現することにより
Global航空市場の頂点を目指す！**

※5-Win: Airline-Customer-NTS-Supplier-Regional Society

☆ 今中期 (2014-2016) : 体質強化+種まき

大型量産開発玉成 (MRJ, 737MAX, 777-X, 787-10)
第一期大型投資による生産改革の実践 (生産効率&収益性大幅改善)
新MROビジネスモデル構築 (商品: 製品→信頼性)

☆ 次期中期 (2017-2020) : 体質強化+一部刈取り

第二期大型投資による生産改革加速 (新機種量産立上)
新製品市場投入によるMROビジネス拡大

☆ 長期 (2014-2024) : 競争優位性確立

- ① 新技術の顧客との共同開発
⇒ 差別化技術造り込み
- ② スマートファクトリー構築
⇒ 世界トップのQCD Performance + 環境性能大幅改善

7. 目指す姿

民間機事業を成長ドライバーに飛躍を目指す！

長期目標：売上規模倍以上

売上(百万円)

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

2014

2015

2016

2020

2025

2030

2035

200
億円

300
億円

400
億円

500
億円

将来機/
新製品

新規プログラム
777X
737MAX
MRJ

既存
(含む防衛)

ご清聴頂きまして有難うございました

